

### 第3節 (教材2-3) 昨夜の夕飯何食べたの？

～ワークシヨップ「知っている有名外国人」と

「私の夕飯メニュー」～

#### ねらい

私たちが得ている外国や外国人の情報に偏りがあることや、自分の食生活には広い地域の外国の食文化が含まれていることに気づき合う活動をとおし、違いを認め合うことは、豊かさにつながることを感得する。

#### 準備

- (1) 付箋紙 (各グループに約30枚)
- (2) 大きい掲示用世界地図-2枚。または略世界地図を黒板に2つ描く。



#### 学習の進め方 (約50分)

・活動1 <私たちの知っている有名外国人>

- (1) 5～6人のグループをつくり、記録係を決める。
- (2) 記録係以外は、決められた時間内 (たとえば2分) に、知っている有名外国人名をたくさんあげる。記録係は、グループ員からあげられる名前を付箋紙に書く。
- (3) 名前の書かれた付箋紙を、国別または地域別に分けて貼り付ける。



・活動2 <私の夕飯メニュー>

- (4) 各自、昨夜の夕食メニューを一つずつ付箋紙に書く
  - (5) それぞれのメニューを書いた付箋紙を、世界地図の国または地域に貼る。
- ・まとめと振り返り
- (6) 「知っている有名外国人」と「私の夕飯メニュー」比べ話し合う。
  - (7) 今日の学習で学んだことを振り返る。

#### 発表例

- ・知っている外国人は、東南亜アジアは近い国なのに少ない。自分の心の中に、アメリカに対するあこがれのようなものがあり、東南アジアに対しては後進国としてどこかで低く見ている感じがした。
- ・知っている外国人に比べると、東南アジアの紙 (メニュー) が多い。日本の食文化は幅広い地域の食文化の集まりのように感じる。
- ・違うものがあるということは、選ぶことができるということ。豊かということでもあると思った。

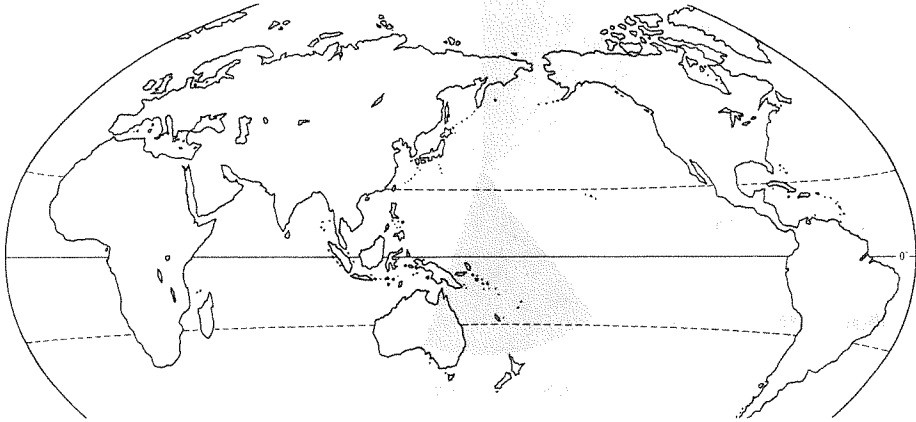
#### 発展

第5章 第2節 (実践2) 「開かれた学校づくり」と人権の学び合い (本書 P.101)

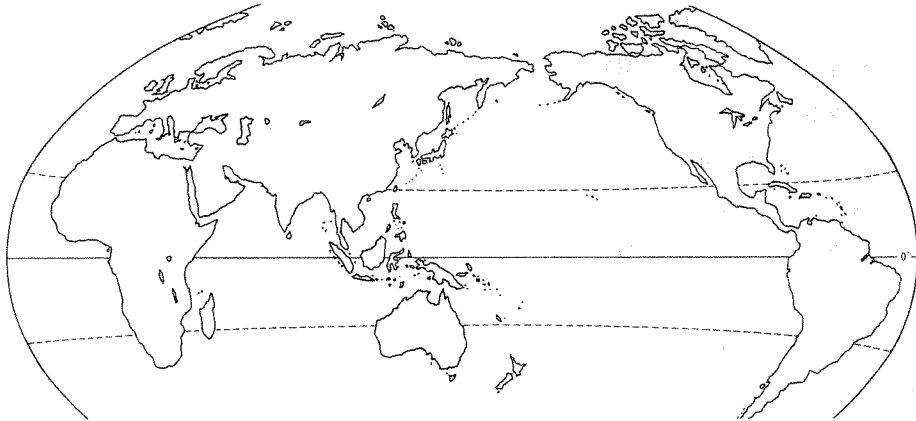
第3章 第1節 「アフリカからの花嫁」 (本書 P.53)

(ワークシート) 昨夜の夕飯何食べたの？  
～「知っている有名外国人」と「私の夕飯メニュー」～

- 1 「知っている有名外国人」の貼られた付箋紙の国別、または地域別数を○印で記入しましょう。



- 2 「私の夕飯のメニュー」の地図上に貼られた付箋紙の国別、または地域別数を○印で記入しましょう。



- 3 二つを見比べて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。

.....  
.....  
.....

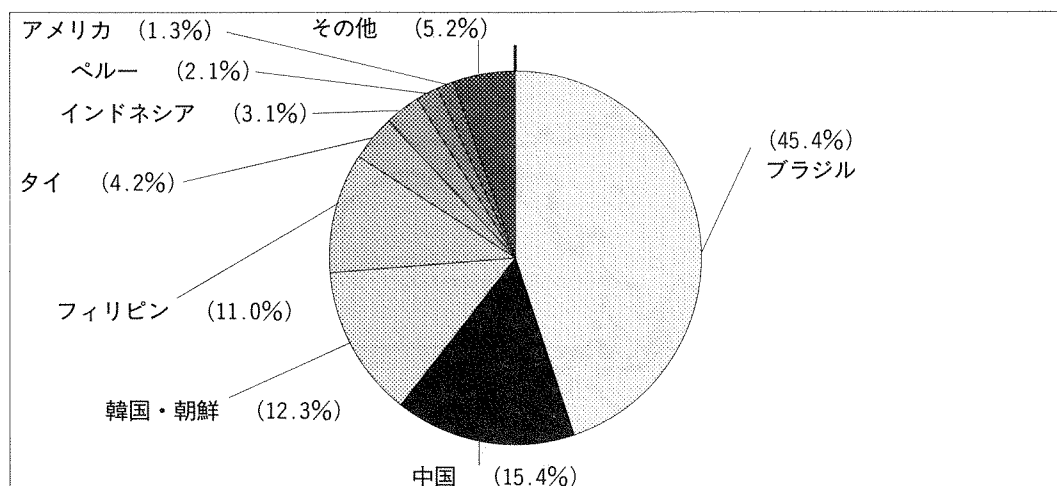
- 4 今日の学習を振り返り、何を学びましたか。

.....  
.....  
.....

## 資料 在日外国人の現状

### 1 長野県の外国人登録者数

長野県外国人登録者の比率（平成11年12月31日現在）



### 2 長野県在住外国人の現状と人権 <長野県外国人登録国籍別人数（平成11年12月31日現在）>

かつて、全国及び長野県の在住外国人は、第二次世界大戦前の歴史的背景の影響により、韓国・朝鮮人の人々が大多数を占めていました。しかし近年は、結婚、留学、就労、日本人の係累者など様々な理由により日本で生活する外国人が急増しています。

長野県における現在の外国人登録者は、別表・グラフのとおりであり南米・東南アジアの人々が大多数を

占めています。県内のある市では、人口の約5%を占めるという状況も見られます。これらの人々は国籍の多様性とどまらず、渡日に至る事情や現在の生活状態などを見ると、一人ひとり多様な背景をもつとともに、共通する問題もかかえています。

そこで各市町村では、「日本語教室」「日本語学級」等を公民館やNPOなどの民間機関が開催したり、「文化交流」等により互いを理解し合う活動をしたり、「ともに生きる社会」づくりが推し進められてきています。

21世紀は、違いを認め合い地球市民として「ともに生きていく世紀」になるはずです。

※ 「長野県外国人登録国籍別人数」は県庁国際課調査による。

国 籍	登 録 者 数
ブラジル	16,923人（全国 3位）
中国	5,730人（全国 10位）
韓国・朝鮮	4,586人
フィリピン	4,118人（全国 10位）
タイ	1,569人（全国 6位）
インドネシア	1,151人（全国 2位）
ペルー	801人
アメリカ	499人
その他	1,919人
合 計	37,296人